



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療  
先進医療の推進  
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎  
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

## 頸部の腫れ

連携歯科 科長 丸岡 靖史

頸部が腫れた時に、どこの科で診察を受けたらよいのでしょうか、歯科・耳鼻科・内科・外科など迷うと思います。当科にも地域のクリニックから頸部の腫れで、紹介されて受診する患者さんも少なくありません。

腫脹の原因は炎症・腫瘍・先天性嚢胞などがあります。炎症では、歯や歯の周りの組織が原因の歯性感染症、唾液腺炎や細菌・ウイルス感染による頸部リンパ節炎などです。写真1は歯が原因での、下顎から頸部におよぶ広範な感染症です。筆者は頬部から側頭部、頸部から縦隔にいたるような重症感染症も多く経験しており、歯性感染症予防の重要性を強く感じております。

写真2は90歳代の要介護者の口腔内写真です。この患者さんの口腔清掃状態は不良です。そのため歯性感染症を起こして、口腔から頸部にまで腫脹が及びました。慢性心不全などの基礎疾患もありましたので、内科主治医と連携しながら口腔ケア、原因歯の抜歯を行いました。

日本人の寿命は男性が79.5歳、女性が86.3歳ですが、日常的に介護を必要としない健康寿命は男性が70.4歳、女性が73.6歳です。その間の全身状態・基礎疾患・口腔の管理を医科主治医や医療スタッフと連携しながら、健康時と同程度にできるかどうか、歯性感染症の予防に繋がると考えます。

頸部が腫れる腫瘍では、耳下腺・顎下腺などの唾液腺腫瘍、血管腫・リンパ管腫・脂肪腫・甲状腺腫瘍、悪性リンパ腫・頭頸部がんの頸部リンパ節転移・胸腹部がんの頸部転移などがあります。

頸部の腫脹の診断は、神経系、脈管系、リンパ系、内分泌系の臓器が集中しているため発生原因が多岐にわたり、診断・治療に苦慮することも少なくありませんので、病状に応じて歯科病院専門各科、昭和大学附属病院耳鼻科・内科系・外科系専門各科のチーム医療で最良の治療を提供するように努めます。



写真1 歯が原因での頸部腫脹



写真2 要介護患者の口腔内

## 診療科紹介 連携歯科

日本は超高齢社会が進行しており、重篤な全身疾患(心臓病・脳卒中・糖尿病など)を有する患者さんへの対応が、一般開業歯科での求められる時代になってきました。そこで超高齢社会での、多様化したニーズへの対応に困ったときに、お助けをするのが、昭和大学歯科病院連携歯科です。

昭和大学歯科病院連携歯科は、平成21年4月に総合歯科として外来診療を開始して、現在の連携歯科となりました。地域の医療機関で対応が困難な患者さんを積極的に受け入れ、毎月100人以上の紹介患者さんが受診しております。

当科は、地域の歯科医院では対応が難しい方々の治療をお引き受けし、安全・安全・快適な治療を心がけております。地域の医療機関との連携を深め「お互いの顔の見える連携」を目指し、治療の難しい患者さんに対して診療所と病院が診るべき診療部分を連携します。

昭和大学歯科病院宛の紹介状(特定の科宛の紹介状を除く)をお持ちの全ての患者さんを拝見し、複数の科を移動することなく、歯科治療全般から抜歯、小手術に至るまでの治療を包括的・懇切丁寧に対応いたします。必要に応じて院内専門各科、昭和大学附属病院専門各科にも協力を求め、患者さんに最適・最良の治療を提供するように努めます。

① 心臓病、糖尿病、抗血栓薬服用中の方をはじめとした重篤な全身疾患を有する患者さんの抜歯など歯科治療全般 ② 抜歯、歯性感染症、嚢胞などの小外科処置(短期入院を含む)③ 歯科恐怖症・嘔吐反射患者、麻酔剤・薬剤過敏患者の歯科麻酔科と連携での静脈内鎮静、全身麻酔での歯科治療 ④睡眠時無呼吸症候群、舌の痛みや口腔内違和感を訴える患者の診療を行います。

スタッフには専門医として、日本口腔外科学会指導医・専門医が1名、認定医が1名、日本歯科麻酔学会

専門医が1名、日本有病者歯科医療学会指導医・認定医が1名です。さらに助教以上のスタッフは全員が、麻酔科などで全身管理の研修を受けております。

3,000病床を超える昭和大学附属病院と昭和大学歯科病院全体でのチーム医療で、地域で対応が困難な患者さんに安全・安心・快適な医療が提供出来るように医局員スタッフが一丸となり頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

連携歯科 科長 丸岡靖史



静脈内鎮静法での治療

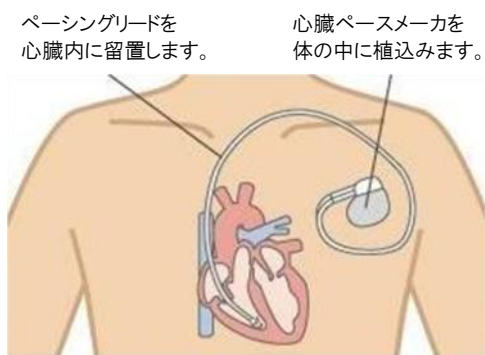


超高齢社会を迎え、日本で心臓ペースメーカーなどの生体内植込みデバイス(以下、デバイス)を装着されている患者さんは、約50万人と推測されています。当歯科病院でもデバイスを装着されている患者さんの診療に携わることが増えています。従来、心臓ペースメーカーは、不整脈の症状を持つ患者さんの治療に使用されてきました。近年は、ペースメーカーの機能に加え、心室細動時に電気ショックを与え、突然死を予防する機能を持つ「植え込み型除細動器:ICD」、慢性心不全により、不規則になった左右の心室の動きを整える機能を持つ「心臓再同期療法:CRT」も登場しています。



ペースメーカー手帳

患者本人、医療施設、医療機器、定期検査および安全に関する情報が記されている。主治医との医療連携に必須である。



心臓ペースメーカーの植込み位置

本体は、鎖骨より下の皮下に植込み、鎖骨の下を通る静脈にペースングリードを挿入する。

心臓ペースメーカーなどのデバイスを装着すると、症状も軽減し、生活の質も改善されます。しかし、皮下に植え込むことによる活動の制約や動作不良や誤動作を避けるために、日常生活、医療環境で使用の制限や注意が必要な電気機器、近寄らないほうが良い場所や、注意が必要な場所などがあります。

心臓ペースメーカーなどのデバイスを装着されている患者さんに安全で確実な診療提供をさせていただくためにお願いがあります。歯科受診の際には、必ずペースメーカーなどのデバイスを装着されていること、体調を歯科医師、歯科衛生士に伝え、「ペースメーカー手帳」や「ICD手帳」と「お薬手帳」の提示、受診毎の携帯に、ご協力をお願いいたします。

歯科用機器の中にも使用の制限や注意が必要な機器があります。微弱な電気を流す機器や磁気を発生する機器です。だからといって、歯科診療に大きな制限はありません。大切なことは、心臓ペースメーカーなどのデバイスを装着されていることを歯科医師、歯科衛生士が認知すること、そしてこれにより、代替の機器を使用することや、機器の電源部や回路を患者さんから十分に離して使用することで、リスクを避けることです。

また、デバイスを装着されている患者さんには、血液の流れをよくする目的で、ワルファリン(ワーファリン®)が処方されていることが多く、お薬手帳は、全身状態を把握させていただくための重要な情報源となります。

「お口が健やかであることは、心とからだの健康を守ることにつながる。」と考えます。ペースメーカーを装着してから何となく不安で、歯科受診が遠のいてしまっている方は、定期健診をお勧めいたします。その際は、「ペースメーカー手帳」と「お薬手帳」と「いつもお使いの歯ブラシ」をお持ちください。(図は日本ライフライン株式会社の承諾を得て掲載)

## 部署紹介 看護部 中央手術室・病棟

### 中央手術室

手術室は4室あり入院患者、外来患者の手術を年間約900～1,000件行っています。中でも件数が多い手術は抜歯術・嚢胞摘出術・顎骨骨形成術・口蓋形成術・インプラント埋入術です。安全を第一とし、歯科医師・麻酔科医・看護師と患者確認を行い密に連絡を取り合い円滑に手術が終了するように努めています。患者さんの不安の軽減として術前患者訪問を行い、情報収集・コミュニケーションをとるよう心がけています。全身麻酔下での歯科治療もおこなっており、障がい者歯科も受け入れております。



中央手術室 スタッフ

看護部 枝元 桂子

### 病棟

病棟のベッド数は22床で看護師14名、クラーク1名、薬剤師1名、補助者1名の構成で勤務体制は2交代制をとっています。患者さんの年齢層は幅広く2歳～90歳の方々が入院されます。口腔外科、障がい者歯科、小児歯科、口腔リハビリテーション科など全診療科を受け入れています。

手術目的の患者さんが主で埋伏智歯の抜歯・口腔内腫瘍・顎変形症・口唇口蓋裂・インプラントなどです。平均在院日数も3.8日と入院期間は短く、長期でも2週間ほどで入退院の多い病棟です。患者さんは歯科の疾患だけでなく糖尿病・心疾患・腎臓病など合併症を抱えた患者さんが多く、内科の医師とも連携をとり周術期の各個人に合った対応・管理を行っています。

看護とは、あらゆる年齢が対象となり、病気を持った人々のみでなく看護が必要な人々が対象となります。「看護ケアは、3S 技術(skill)、精神(spirit)、精神(spirit)および3H 心ころ(heart)、頭

(head)、手(hand)の3つの要素が総合され支えあって看護ケアとなると言われています。(イザベル スチュワート女史が示したパラダムより)」

私たちはチーム医療を大切に歯科医師・薬剤師・歯科衛生士・栄養士・臨床検査技師など他職種と連携し、よりよい看護が提供できるよう努めます。

看護部 夏坂 小百合



病棟 スタッフ

## 編集後記

猛暑、台風直撃、大雨災害と編集後記では異常気象について触れてきましたが、今回は大雪です。2週続けての雪、雪、雪、大雪。そしてその後の粉塵！

昭和大学の四学部の1年生は富士吉田で全寮生活を経験しますが、富士吉田では130cmの積雪があったそうです。富士吉田ならびに全国で雪害に被災された方々に謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

(K.T)

